



# 岡山市水道事業審議会

## 第42回資料

平成24年5月29日(火)14時00分～

三野浄水場内 中央管理棟2階会議室

岡山市水道局

## 目 次

岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン後期編 平成24年度取組予定	・・・・・・・・・・ 1
--	--------------

# アクションプラン後期編 平成 24 年度取組予定

## 平成 24 年度の事業費等

### 1 事業費

(単位：百万円)

項目	期間中の 総事業費	H24 年度 予算額	執行率 (%)
1 安全でおいしい水の供給	925	395	42.7
2 信頼性の高い水道システムの確立	29,802	5,971	20.0
3 災害に強い水道づくり	1,451	292	20.1
4 お客様の満足に応える水道づくり	2,216	416	18.7
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	41	6	14.6
6 資源循環型の水道システムの構築	478	153	32.0
合計	34,913	7,233	20.7

### 2 「5 行財政改革の推進等による経営基盤強化」による効果額

項目	H28 年度目標	H24 年度目標	備考
経費節減額	704 百万円	184 百万円	H23 年度との単年度比較
事務事業、組織機構の見直し	370 百万円	120 百万円	
支払利息	218 百万円	49 百万円	
職員数の目標	345( 15)人	358( 2)人	
企業債残高	255( 53)億円	296( 12)億円	

## 平成24年度の主な取組予定

### 1. 安全でおいしい水の供給

目的

お客様に安全でおいしい水をお届けするために、水源、浄水、配水、給水の各過程での管理、検査体制を向上させます。

- ・ 水源林整備の継続実施 **H24年度目標: 間伐実施面積 5ha**

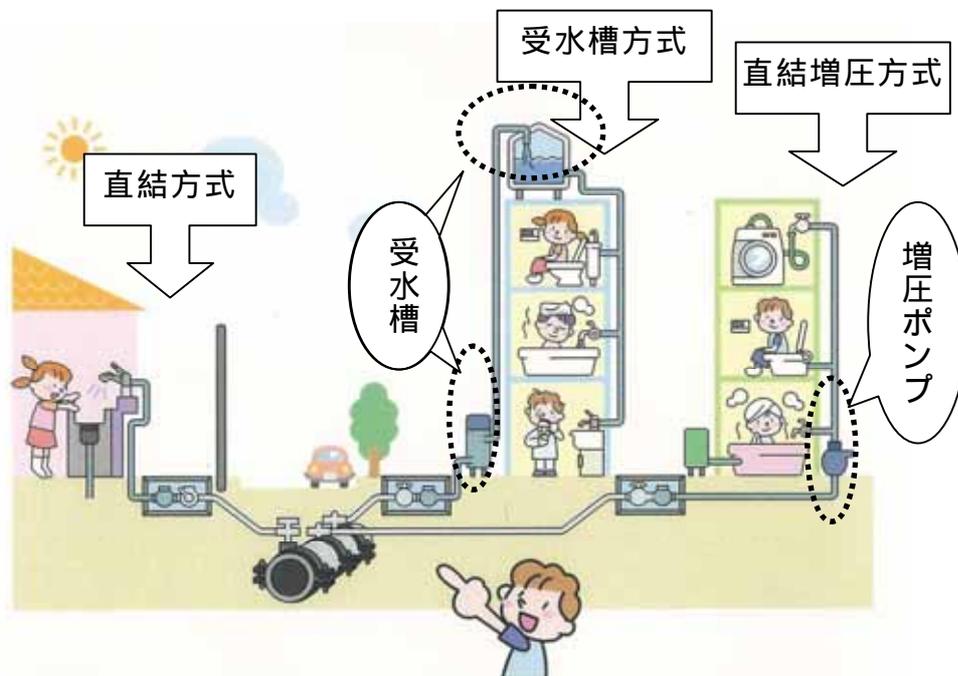
清浄、豊富な水源を確保するため、旭川水源地域である鏡野町、新庄村で間伐、枝打等を行い、水源林の保育や天然林の整備に努めます。

- ・ 浄水処理手法の調査・研究 **H24年度目標: 生物処理方法の研究結果報告**

水質基準の強化や原水状態の悪化などに対応するため、現在岡山市では未実施の新たな浄水処理手法の導入に向けた調査・研究を行います。

- ・ 直結給水の推進 **H24年度目標: 直結給水方式への切替件数 13件**

貯水槽方式と比べて衛生的で省エネにもつながる直結給水方式の推進のため、ホームページ等で広報する等、給水方式の切替を促進します。



- ・ 鉛製給水管の解消 **H24年度目標: 鉛製給水管の解消率 85.3%**

水質の安全性確保及び漏水の防止のため、鉛製給水管の解消を図ります。

## 2 信頼性の高い水道システムの確立

目的

計画的に老朽施設を更新するとともに、水需要に応じた施設整備を行い、将来にわたる水道の安定供給を目指します。

- ・ 旭東浄水場配水制御システムの更新 **H24年度目標:着手**

水需要に応じた効率的な水運用を行うとともに、事故等非常時における断水・濁水を低減させるため、最適な配水体制を整えます。

- ・ 老朽管の更新 **H24年度目標:更新延長 36 km(のべ更新延長 99 km)**

- ・ 石綿管の更新 **H24年度目標:石綿管解消率 93.5%**

赤水の発生や漏水及び破損事故を未然に防止するため、老朽化した水道管を計画的に更新するとともに、石綿製の水道管の解消を推進します。

特に将来にわたる水の安定供給を確保するため、平成25年度までの継続事業として、市内中心部へ配水する上で重要な役割を果たす中央幹線(三野～番町間延長約2.5 km、口径1200<sup>ミリ</sup>～800<sup>ミリ</sup>配水管)の布設工事を実施します。

なお、老朽管の更新や石綿管の解消に併せて、管路の耐震化を図ります。

## 3 災害に強い水道づくり

目的

管路・施設等の耐震化を進めるとともに、災害発生に備えて復旧体制、給水体制の強化に努めます。

- ・ 基幹水道施設の耐震化 **H24年度目標:施設耐震化率 42.7%**

- ・ 水道管路の耐震化 **H24年度目標:管路耐震化率 9.4%**

地震等災害の発生時における生活必要水を確保するため、操山配水池の耐震補強を行う等、施設の耐震化に努めます。また、管路被害を極小化させ早期の給水復旧を図るため、今年度よりすべての管路に耐震管を採用する等、管路耐震化の推進に努めます。

- ・ 非常用発電機更新計画の策定 H24年度目標: 計画策定の着手

大規模災害時等の非常時においても施設を稼働させ給水が確保できるように、浄水場等主要施設への非常用発電機の計画的な整備を進めていきます。



三野浄水場  
発電機棟

#### 4 お客様の満足に応える水道づくり

目的

お客様窓口の改善、広報・広聴の充実等、お客様の視点に立ったサービスの提供を推進します。

- ・ おかやまの水のおいしさ、大切さを伝えるPR活動

H24年度目標: 来場者数 3,300人 ホームページアクセス数 76,000件

水道水のおいしさや安全性をより知っていただくため、水道フェア等のイベントの開催、岡山駅に設置したウォーターステーションでの飲用水の提供、水道局ホームページでの広報など、各種PR活動に努めます。

また、水道の重要性や水の大切さについて知っていただくため、登録有形文化財に指定されている水道記念館や水道の日等のイベントを実施するなど啓発活動に努めます。

#### 5 行財政改革の推進等による経営基盤強化

目的

限られた財源を有効に活用し、安定的な事業運営を継続させるため、経費節減等の行財政改革を継続します。また、効率的な事業運営を図るための組織を構築し、原動力となる職員の技術の継承、人材育成に努めます。

- ・ 行財政改革の推進

H24年度目標: 事務事業等見直し額	120百万円
企業債利息削減額	49百万円
企業債残高	296億円( 12億円)

よりスリムで効率的な事業運営を目指し、組織及び事務事業の見直しを行います。併せて、将来の財政負担の削減及び財政基盤の強化を図るため、引き続き企業債残高及び支払利息の削減を行います。

- ・ 組織の活性化と技術の継承 **H24年度目標:1人当たり研修時間 18.0時間**

水道技術の継承と人材育成を行うため、人材育成マスタープランにより局内研修の充実を図ります。また、水道技術研修所において配水管・給水管の配管や維持管理の研修を継続して実施していきます。

## 6 資源循環型の水道システムの構築

### 目的

水道事業は循環資源である水を利用し、24時間安定供給のために電力等多量のエネルギーを使用しています。地球環境に配慮することは社会的な責務であり、環境保全活動、エネルギーの有効利用等を引き続き実施していきます。

- ・ 環境負荷低減への取組 **H24年度目標:独自マネジメントシステムの継続運用**

ISO14001に準拠した水道局独自による環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷の低減に努めていきます。併せて環境報告書を作成し、環境への負荷軽減等の取組内容をお知らせします。

- ・ 漏水防止事業の推進 **H24年度目標:有収率 89.4%**

水資源を有効に利用するため、予防対策に重点を置いた漏水防止事業を推進していきます。

- ・ 浄水発生土の有効利用 **H24年度目標:有効利用率 100%**

資源の有効利用と処分費用の削減を図るため、浄水過程で発生する脱水ケーキを園芸用土としての販売等有効利用に努めます。